

春から4年ぶり制服一新

南東北病院など明るいイメージ



4月から一新する制服を試着し、張り切る職員たち

総合南東北病院などを運営する(一財)脳神経疾患研究所の職員の制服が4月から4年ぶりに一新します。新しくなるのは川俣、三春、裏磐梯を除く同財団各施設の医師を除く医療・介護従事者など14職種の職員制服です。2月2日に院内で新制服が披露されましたが、現在のものに比べると、全体的にカラフルで明るいイメージです。

このうち看護師の制服は襟元をV字にカットにしたのが特徴的です。女性事務職は襟元からリボンにスカーフ風に取り付け、華やかな印象を与えます。職種によってはツートンカラーの制服もあります。職員は「制服一新で気分も新たに仕事に励みたい」と張り切っています。

在宅センター4月開所 須賀川の2階にデイサービス

医療法人社団三成会が運営する須賀川市南上町の南東北春日リハビリテーション病院西側に新施設「在宅センター」が4月にオープンします。

新たな施設は木造三階建て(延べ床面積約1310㎡)で、県産木材活用の補助制度を受け、直行集成板を全面採用したユニークな建物です。

1階は通所リハビリテーション(定員40人)、2階は同病院で初めてのデイサービス(定員40人)の施設となります。3階には居宅介護支援セ



4月オープン目指し工事が進む在宅センター

精算機など移動 南東北医療クリニック

南東北医療クリニックは、このほど1階フロア・エスカレーター壁側にあつた自動受付機を正面玄関入り口付近に、自動精算機は北側の会計窓口前に移しました。写真。これまで自動受付機と自動



精算機は、総合案内南側の壁側に設けていましたが、スペースが狭く通路が混雑することや場所が見つけにくいなどから外来患者さんの利便を考慮して移動しました。

設置場所を変えたことで自動受付機は、正面玄関入り口からすぐに目に入り、初めての患者さんにも分かりやすくなったのははじめ、会計の手続きから精算までがより円滑にできるようになりました。

同クリニックでは、夏には総合案内の場所も移動して空間を広げることになっています。

3月19日から通常ダイヤ 南東北病院送迎バス

総合南東北病院の同病院と郡山駅間シャトルバスダイヤが3月19日(月)から春・秋の通常ダイヤに戻ります。

シャトルバスは昨年12月17日から3月17日(土)まで冬ダイヤで運行しています。通常ダイヤでは、夕方5時以降の郡山駅行きは、午後5時発30分発、6時5分発、6時40分発の3便となり、午後6時30分発はなくなります。3便はいずれも本院を経由せず公園前からの出発です。この他の便については変更ありません。シャトルバスは日曜・祝日を除き毎日運行しています。